



TITLE:

I 研究所の概要

AUTHOR(S):

CITATION:

I 研究所の概要. 霊長類研究所年報 1977, 7: 1-25

ISSUE DATE:

1977-11-25

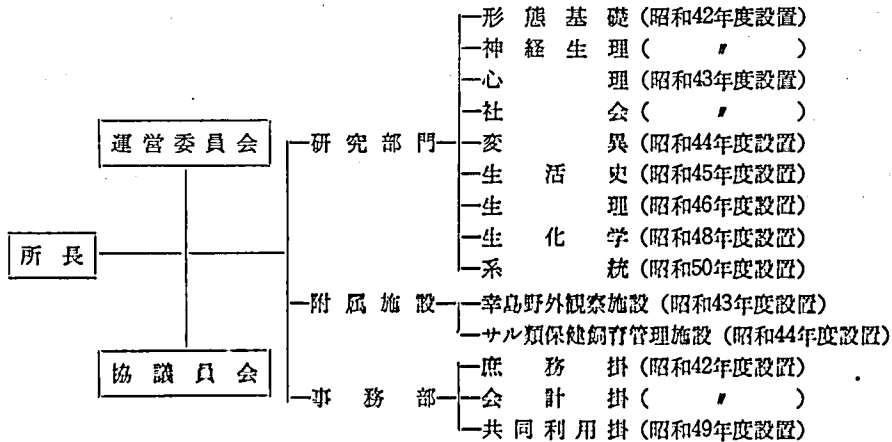
URL:

<http://hdl.handle.net/2433/162787>

RIGHT:

I 研究所の概要

1. 組織 (昭和52年3月30日現在)



所 長 近 藤 四 郎

運営委員 (50音順)

伊 谷 純 一 郎 (京大・理)
 糸 魚 川 直 祐 (阪大・人科)
 今 西 錦 司
 岩 本 光 雄 (霊長研)
 伊 沢 紘 生 (日本モンキーセンター)
 大 沢 清 一 (霊長研)
 河 合 雅 雄 (霊長研)
 久 保 田 競 (霊長研)
 四 手 井 綱 英 (日本モンキーセンター)
 宮 地 伝 三 郎
 水 原 洋 城 (東京農工大)
 本 吉 良 治 (京大・文)
 渡 辺 直 経 (東大・理)

事 務 長 北 川 治 康

現 員 (昭和52年3月30日現在)

年度	区 分	教 授	助 教 授	助 手	小 計	一 般 職 員	非 常 勤 員	小 計	合 計
昭和51年度		9	8	23	40	30	11	41	81

大学院学生および研修員 (昭和52年3月30日現在)

年度	区 分	博士課程	修士課程	研 修 員	合 計
昭和51年度		9	7	6	22

2. 予算概況

昭和51年度経費（項）研究所

経常経費		共同利用施設 運営費	計	科学研究費	合 計
人件費	物件費				
千円 213,066	千円 114,839	千円 55,717	千円 383,622	千円 69,620	千円 453,242

科学研究費

年度・種別	研 究 課 題	研究代表者	補助金額 千円
(昭和51年度)			
特 定 研 究 (1)	霊長類の実験動物化に関する研究	千葉 敏 郎	12,300
(2)	実験的パーキンソニズムにおける運動性皮質の役割の研究	久保田 競	2,800
綜 合 研 究 (A)	アイソザイム変異の動態保有機構及び進化学的意義	野 沢 謙	2,500
(A)	酵素活性発現の分子機構	高 橋 健 治	1,800
一 般 研 究 (A)	視覚性学習行動におけるサル前頭前野機能の神経生理学的、行動学的研究	久保田 競	13,000
(B)	ニホンザル地域集団における性の役割についての社会、生物学的研究	河 合 雅 雄	3,500
(C)	食性との関連からみた霊長類各分類群の頭骨諸形質の形態学的分析	江 原 昭 善	1,250
(D)	ニホンザルの遊動生活におけるスペーシングメカニズム	鈴 木 晃	320
奨 励 研 究 (A)	ニホンザルの採食行動に現われる前文化適応行動の研究	森 明 雄	250
試 験 研 究 (1)	霊長類を対象とする細線電極用筋電図記録システムの開発とその応用	近 藤 四 郎	1,800
(2)	マカク属サルのセミ・オープン条件での繁殖に関する基礎的研究	大 島 清	12,000
海外学術調査(調査 総括)	エチオピアにおけるヒヒ類、とくにその種間雑種に関する研究の調査総括	河 合 雅 雄	2,800
(現地 調査)	熱帯アジアにおけるヤセザル類の比較社会学的研究	川 村 俊 蔵	9,900
(予備 調査)	南米大陸における広鼻猿類の系統進化に関する研究	近 藤 四 郎	2,800
(予備 調査)	エチオピアにおける現生ならびに化石霊長類に関する総合的研究	河 合 雅 雄	2,600
合 計	15 件		69,620

3. 研究設備 (51年度新設分)

形態基礎研究部門

2 素子直流増幅器 (三栄測器 6L5)

4 素子筋電図用増幅器 LS202

生理研究部門

日立走査電子顕微鏡 (S-310型 日立製作所)

メディカルコーダー (DHP-3004M 日本光電)

電磁血流計 (RT-500 ナルコ)
 微小電極増幅器 (OPZ-11 (2台) ダイヤメディカル)

電気刺激装置 (DPS-10 ダイヤメディカル)
 連続撮影装置 (PC-2B 日本光電)
 微小電極増幅器 (MEZ-8101 日光光電)
 岩崎デュアルビームシンクロスコープ

(DS-5006岩崎通信)

湿式ガスメーター (WK-2型 品川製作所)
 2ch記録計 (MD-20型 東芝ベックマン)
 定電圧電流電源装置 (20SR型 エムエス)
 ユニバーサルホモグナイザー (HD型 日本精機)

系統研究部門

北アメリカ産第三紀食虫類, 原猿類等の標本
 約1,000点

幸島野外観察施設

実体顕微鏡 (JMTR オリンパス)

サル類保健飼育管理施設

TV用遠隔操作ズームシステム (ユニテック電子)
 内視鏡セット

4. 図書・資料

第1表に、42-50年度と51年度の書籍(雑誌をのぞく)の購入状態を部門別に示した。蔵書冊数は、昭和51年度末には、和書1,624冊、洋書3,055冊になった。なおこれまでに図書室が購入した“共通”の書籍は、和洋書あわせて337冊である。

第2表aに年度別の和洋雑誌数を、bには昭和51年度の部門別購読雑誌数を示した。この表からわかるように、51年度末現在購読中の和雑誌及び中国雑誌は合計19種、洋雑誌は98種である。この他、日本モンキーセンターから *Primates* 及びモンキーの寄贈を受けており、久保田競氏から *Brain Research* を、室伏靖子氏からは *Laboratory Primate Newsletter* を寄贈していただいている。

第3表にこれらの雑誌のリストと購読部門名、刊行区分、所蔵巻、年号(+印は継続購入中)を記した。なお、雑誌のリストには1977年度から購読しはじめた雑誌も含まれている。なお、閲覧に関しては年報第6巻の図書室利用規定を参照して下さい。(小山直樹)

第1表 部門別蔵書冊数
和書 洋書

部 門 \ 年 度	42-50	51	計	42-50	51	計
形 態 基 礎	52	0	52	55	2	57
神 経 生 理	16	2	18	105	10	115
心 理	6	0	6	218	13	231
社 会	41	5	41	113	0	113
交 異	12	0	12	37	1	38
生 活 史	28	0	28	117	5	122
生 理	29	0	29	34	0	34
生 化 学	0	0	0	6	3	9
系 統	0	0	0	0	6	6
サ ル 施 設	49	2	51	56	6	62
幸 島 施 設	5	0	5	15	1	16
事 務 室	42	0	42	1	0	1
中 央	74	0	74	77	0	77
研 究 林	76	2	78	0	0	0
科学研究費購入	1	4	5	14	10	24
図 書 室	116	77	193	112	32	144
大 学 院 ¹⁾	14	12	26	10	5	15
寄 贈	50	11	61	36	1	37
製 本 雑 誌 ²⁾	63	48	111	1,170	293	1,463
吉 場 文 庫 ³⁾	46		46	61		61
徳 田 文 庫	598		598	219		219
長 谷 部 文 庫	148		148	211		211
計	1,461	163	1,624	2,667	388	3,055

1) 49年以前は、図書室の蔵書に含まれる。2) 管理換を含む。3) 吉場文庫は全て寄贈の欄に記されるべきものであるが、ここでは別扱いとした。

第2表 a. 年度別和洋雑誌数

年度	和雑誌	洋雑誌
44	4	47 + 1
45	4	58 + 1
46	13 + 1	63 + 1
47	14 + 1	75 + 1
48	19 + 1	83 + 1
49	18 + 1	101 + 1
50	16 + 1	97 + 1
51	19 + 1	98 + 3

* +は寄贈。

** 42, 43年度については、資料が欠落している。

*** 中国雑誌は図書分類上、和雑誌にカテゴライズされている。

第2表 b. 51年度の部門別購読雑誌数

部門	和雑誌	洋雑誌
形態基礎	0	12
神経生理	1	8
心理	0	22
社会	0	6
変異	5	3
生活史	0	10
生理	2	10
生化学	0	13
系統	0	3
サル施設	2	5
幸島施設	0	1
図書室	9	5
寄贈	1	3
計	20	101

* 変異部門の和雑誌はすべて中国雑誌。

第3表 a. 和雑誌及び中国雑誌リスト

和雑誌	刊行区分 ¹⁾	所蔵巻(年号) ²⁾
科学図書室	M	[38(1968)]+
科学朝日	"	M [28(1968)]+
自然	"	M[23(1968)-24(1969)]+
出版ニュース	"	3/M [1969]+
学術月報	"	M [21(1969)]+
生物科学	"	Q 28(1976)+
生体の科学	"	M 27(1976)+
遺伝	"	M [30(1976)]+
言語	"	M 5(1976)+
生物科学ニュース	"	M (1977)+
科学新聞	"	W (1977)+
バイオテク		[4(1973)]
脳と神経	神生	M 24(1972)+
神経研究の進歩		BM 16(1972)-19(1975)
ホルモンと臨床生理		M [19(1971)]+
医学と生物学	"	M 82(1971)+
日本医事新報		W [1971-1973]
最新医学		M 26(1971)-30(1975)
産婦人科の世界		M 23(1971)-24(1972)
産科と婦人科		M 38(1971)-39(1972)
蛋白質・核酸・酵素	生理	M [18(1973)-[21(1974)]
臨床検査	サル施	M+1 [15(1971)]+
日本獣医師会雑誌	"	M 26(1973)+
週刊ベツト百科		W 1(1975)-48(1975)
世界動物百科		1(1971)-192(1974)
モンキー	寄贈	1(1957)+
中国雑誌		
古脊椎動物与古人類	変異	2N 11(1973)+
考古学報	"	2N (1973)+
植物学報	"	Q 15(1973)+
動物学報	"	Q 19(1973)+
地質科学	"	Q (1973)+

第3表 b. 洋雑誌リスト (定期刊行図書を含む)

雑誌名	刊行区分 ¹⁾	購読部門	所蔵巻(年号) ²⁾
Abstracts & Reviews in Behavioral Biology(formerly Communications in Behavioral Biology, pt. B).	A	M	11(1973)
Acta Endocrinologica.	D	M	75(1974)-80(1975)
Acta Physiologica Scandinavica.	Sd	M 神生	78(1970)+
Acta Neurobiologiae Experimentalis.	P	BM "	32(1972)+
Advances in Enzymology and Related Areas of Molecular Biology.	A	SA 生化	40(1974)+
Advances in Protein Chemistry.	A	A "	28(1974)+
American Anthropologist.	A	Q 変異	70(1968)+

- American Journal of Anatomy.
American Journal of Human Genetics.
American Journal of Obstetrics and Gynecology.
American Journal of Physical Anthropology.
American Journal of Physical Medicine.
American Journal of Physiology.
American Naturalist.
American Psychologist.
Analytical Biochemistry.
Anatomical Record.
Anatomischer Anzeiger.
Animal Behavior.
Animal Learning & Behavior.
Annals of the New York Academy of Sciences.

Annual Review of Biochemistry.
Annual Review of Ecology and Systematics.
Annual Review of Physiology.
Annual Review of Psychology.
Anthropologie.
Anthropologischer Anzeiger.
Anthropological Quarterly.
Archives Italiennes de Biologie.
Archeves Suisses d' Anthropologie Generale.
Australian Journal of Zoology.
Behaviour.
Behavior Research Methods and Instrumentation.
Behavioral Ecology and Sociobiology.
Behavioral Science.
Behavioral Biology (formerly Communications in
 Behavioral Biology, Pt. A).
Bibliography of Reproduction.
Biochemistry.
Biochemical & Biophysical Research Communications.
Biochimica et Biophysica Acta (Protein Structure).
Biology of the Neonate.
Brain, Behavior and Evolution.
Brain Research.
Bulletins et Memoires de la Societe d'Anthropologie
 de Paris.
Bulletin of Psychonomic Society.
Canadian Journal of Psychology.
Canadian Journal of Neurological Sciences.
Communications in Behavioral Biology.
Conditional Reflex.
Cortex.
Current Anthropology.
- A M サル施 139(1974)+
A BM 変異 20(1968)+
A SM 生理 110(1971)+
A BM 形態 28(1968)+
A BM " 50(1971)+
A M 生理 222(1972)+
A BM 生活史 106(1972)+
A M 心理 29(1974)+
A M 生化 57(1974)+
A M 形態 166(1970)+
G 10N " 126(1970)+
E Q 心理 17(1969)+
A Q " 1(1973)+
A A [115, 117, 118, 134, 147, 156,
 157, 159, 160, 162, 164, 165, 166, 167, 169]
A A 生化 43(1974)+
A A 系統 1(1970)+
A A 26(1964)—27(1965)
A A 心理 16(1965)+
F Q 72(1968)—74(1970)
G Q 形態 31(1968)+
A Q 生活史 41(1968)+
I Q 106(1968)—113(1975)
S 32(1967)—35(1971)
Au 4N 社会 22(1974)+
H 16N 心理 33(1969)+
A BM " 1(1968)+
G Q 生活史 1(1976)+
A BM 心理 10(1965)+

A M 図書室 7(1972)—[8]+
E M 17(1971)—26(1975)
A Bw 生化 13(1974)+
A SM " 56(1974)+
H 12N " P30(1974)+
S M " 26(1975)—29(1976)
S BM 心理 1(1968)+
H W 寄贈 1(1966)+

F Q 3(1968)—6(1970)
A M 心理 1(1973)+
C Q " 19(1965)—30(1976)
C Q 神生 4(1977)+
A M 2(1968)—[9]
A Q 4(1969)—6(1971)
I Q 9(1973)—11(1975)
A 5N 生活史 1(1960)+

Current Contents: Behavioral, Social & Educational Sciences.	A	W		1(1969)—5(1973)
Current Contents: Life Sciences, with Weekly Subject Index.	A	W	生化	12(1969)—16(1973), 19(1976)+
Developmental Psychology.	A	BM	心理	1(1969)+
Ecological Monographs.	A	Q	社会	40(1970)+
Electroencephalography and Clinical Neurophysiology.	H	M	神生	1(1949)—41(1976)
Electromyography and Clinical Neurophysiology (formerly Electromyography)	Be	5N	形態	12(1971)+
Endocrinology.	A	M	生理	90(1972)+
Evolution.	A	Q	系統	30(1976)+
Excerpta Medica. Sect. 1	H	M		22(1968)—24(1970)
Excerpta Medica. Sect. 10	H	M		24(1971)—25(1972)
Experimental Brain Research.	G	3Bd	神生	1(1966)+
Experimental Neurology.	A	M		1(1959)+
Federation Proceedings.	A	M		32(1973)—34(1975)
Fertility and Sterility.	A	M	生理	23(1972)+
Folia Primatologica.	S	8N	圖書室 幸島施	1(1961)+
Hormones and Behavior.	A	Q	生理	2(1971)+
Human Biology.	A	Q	形態	40(1968)+
Human Ecology.	A	Q	生活史	2(1974)+
Journal of the American Veterinary Medical Association.	A	SM		160(1972)—k63(1973)
Journal of Animal Ecology.	E	3N	生活史	39(1970)+
Journal of Anthropological Research (formerly Southwestern Journal of Anthropology).	A	Q		29(1973)+
Journal of Applied Physiology.	A	M	生理	32(1972)+
Journal of Biological Chemistry.	A	SM	生化	249(1974)+
Journal of Biomechanics.	E	BM	形態	7(1974)+
Journal of the Bombay Natural History Society.	India			58[1961]—59[1962]
Journal of Bone and Joint Surgery (American Volume).	A	8N	形態	52A(1970)+
Journal of Bone and Joint Surgery (British Volume).	A	4N		52B(1970)+
Journal of Comparative Neurology.	A	SM	神生	144(1972)—170(1976)
Journal of Comparative and Physiological Psychology.	A	M	心理	59(1965)+
Journal of Ecology.	E	3N	生活史	58(1970)+
Journal of Endocrinology.	E	M		49(1971)—67(1975)
Journal of the Experimental Analysis of Behavior.	A	BM	心理	1(1958)+
Journal of Experimental Psychology.	A	M		79(1969)+
Journal of Human Evolution.	E	BM	形態	1(1972)+
Journal of Mammalogy.	A	Q	変異	52(1971)+
Journal of Medical Primatology.	S	BM	生理	1(1972)+
Journal of Molecular Evolution.	G	4N	生化	4(1974)+
Journal of Neurochemistry.	E	M		22(1974)+
Journal of Neurophysiology.	A	BM		29, 31(1968)—38(1975)
Journal of Physiology.	E	SM		156(1961)—253(1975)
Journal of Reproduction and Fertility.	E	M	サル施	32(1973)+

Journal of Wildlife Management. With Monographs
and Bulletin.

Laboratory Animals.

Laboratory Animal Science.

Laboratory Primate Newsletter.

Life Sciences. Pt.1:Physiology and Pharmacology.

Malayan Nature Journal.

Man:Journal of Royal Anthropological Institute.

Memory & Cognition.

Nature.

Neuroendocrinology.

Neuropsychologia.

Но́рофизиология.

Oikos.

Oryx: Journal of the Fauna Preservation Society.

Proceedings of the National Academy of Sciences, U. S.

Perception & Psychophysics.

Perceptual and Motor Skills.

Physiology and Behavior.

Physiological Reviews.

Physiological Zoology.

Physiological Psychology.

Primates:Journal of Primatology.

Prostaglandins.

Psychological Abstracts.

Psychological Bulletin.

Psychological Review.

Psychonomic Science.

Researches on Population Ecology.

Science.

Scientific American.

Southwestern Journal of Anthropology.

Soviet Anthropology and Archaeology.

Soviet Psychology.

Symposia of the Zoological Society of London.

Systematic Zoology.

Terre et la Vie.

Zeitschrift für Morphologie und Anthropologie.

Zeitschrift für Versuchstierkunde.

East African Wildlife Journal.

Journal of Theoretical Biology.

National Geographic.

A	Q	社会	33(1969)+
E	2N	サル施	1(1967)+
A	BM	"	20(1970)+
A	Q	寄贈	12(1973)+
E	SM		11(1972)—12[1973]
Malaya			17[1963]
E	Q	生活史	3(1968)+
A	Q	心理	1(1973)+
E	W	図書室	217(1968)+
S	M	生理	7(1971)+
E	Q	神生	1(1963)+
R	6N		2[1970]—7[1975]
D	3N	社会	25(1974)+
E	3N	"	12(1973)+
A	M	生化	73(1974)+
A	M	心理	19(1976)+
A	BM	"	28(1969)—43(1976)
E	M	心理	1(1967)+
A	Q	神生	50(1970)+
A	Q	生理	45(1972)+
A	Q	心理	1(1973)+
J	Q	寄贈	1(1958)+
A	M	生理	1(1972)—12(1976)
A	M	心理	39(1965)+
A	M	"	63(1965)+
A	BM	"	73(1966)+
A			1(1964)—29(1972)
J			8(1966)—9(1967)
A	W	図書室	[1966—1968]—163(1969)+
A	M	"	220(1969)+
A	Q		24(1968)—28(1972)
A	Q	生活史	7(1968)+
A	Q		7(1969)—9(1971)
E			1, 2, 4, 8, 10, 13, 15, 17, 18, 21, 23, 24, 26,
A	Q	系統	25(1976)+
F	Q	社会	30(1976)+
G	3N	系統	60(1968)+
EG	BM	サル施	14(1972)+
E	Q	社会	15(1977)+
E	SM	図書室	64(1977)+
A	M	"	151(1977)+

1) W =週刊

3/M =旬刊

SM =月2回

M =月刊

BM =隔月刊

Q =季刊

A =年刊

2Bd =年2巻 (冊数不詳)

2N =年2回 (不定期)

3N = 3

4N = 4

5N = 5

6N = 6

8N = 8

12N = 12

2) [] は欠号があることを示す。

資 料

当研究所および所内研究者の保有する一次資料を下記に示した。昨年に引き続き資料委員会は、所内研究者および共同利用研究者等の協力を得、実験殺された所内飼育個体の能率の利用、標本の作製保存による資料の充実に主力を注いでいる。これら標本類の管理スペース、人手も不足しがちであるが、一部、所外に埋もれているサル死体の収集も行なうことができ、不十分ではあるが利用システムの確立を計りつつある。

現生霊長類：

骨格標本	250点
頭骨標本	930点
ハク製標本	50点
液漬体軀標本	410点
液漬内臓標本	200点
凍結内臓標本	100点

現生哺乳類その他（霊長類を除く）：

骨格標本	200点
頭骨標本	2,200点
犬歯標本	400点
ハク製標本	340点
液漬標本	30点
寄生虫標本	30点
蝶類標本	500点

哺乳類化石：

人類標本	70点
哺乳類（人類を除く）	1,100点

植物資料：

脂葉標本	400点
植物標本	800点

人類生活資料：

道具	20点
----	-----

5. 研 究 活 動

形態基礎研究部門

近藤四郎・岩本光雄
岡田守彦¹⁾・渡辺 毅
真家 和生

研 究 概 要

1) 霊長類の姿勢およびロコモーションの比較生機構学的研究

近藤四郎・岡田守彦・早川清治

昨年度にひきつづき、霊長類の locomotor adaptat-

1) 現在筑波大・体育科学

ion を機能形態学的に明らかにするため、サル類の歩行運動の生機構学的特性を調べた。昭和51年度は特にクモザルに重点をおき、細線電極筋電図法により、これまで記録できなかった深層筋や弱小筋の歩行における活動様式を分析した。

2) ヒトのロコモーションに関するエネルギー代謝からみた研究

真 家 和 生

ヒトのロコモーションの問題をとりあげ、定常歩行状態を生理的適応状態とみなす立場から、エネルギー代謝を測定として、解析を試みた。特に、これまであまり行われていなかった動特性の解析に主眼をおき、過渡モデルの決定と性差を明らかにすることができた。

3) 旧世界ザル、特にマカクに関する形質人類学的研究

岩 本 光 雄

主として野生ニホンザルに関して、皮膚隆線系、歯式、生体計測の面から研究を進めた。

4) 霊長類の成長に関する研究

渡 辺 毅

霊長類研究所実験放飼場で誕生のバタスモンキーとサバンナモンキーのハイブリッドについて、生体観察と生体計測をおこない、形態学的特徴と一年間の成長量を調べた（所内研究者との共同研究）。また、ニホンザル志賀A群およびC群に関するデータの分析および収集をおこなった。

5) エチオピア国における現生ならびに化石霊長類に関する形態学的研究

岩 本 光 雄

前年度収集の主としてマントヒヒとアヌビスヒヒに関する資料の整理を行い、これらに関する生体計測・発育に関する概観を行うとともに、エチオピアにおける現生霊長類の分布概要をとりまとめた（後者はエチオピア国ラレム・ベルハヌ氏との共同研究）。また、現地調査として、エチオピア南西部における化石霊長類の発掘に関する予備的調査を行った（国立科博長谷川善和氏との共同調査）。

6) 新世界ザルの系統学的・形態学的研究

渡 辺 毅

アカホエザルに関する頭骨計測と統計的処理をおこない、性差と成長の観点から考察をおこなった。また、12月より2月まで、コロンビアにおいてゲルディモンキーの分布と第3紀中新世層の発掘に関する予備調査をおこなった。

総 説

1) 岡田守彦 (1976)：比較走運動学入門。体育科教育，8月号，8—11。

2) 岡田守彦 (1976)：ヒトの姿勢について。医学のあ